

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	指導訓練室は10名定員に対し49㎡の広さを確保しております。(都の指定基準40㎡以上)
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	管理者兼児童発達支援管理責任者1名、常勤指導員4名(作業療法士1、保育士1、児童指導員2) 2019.9現在非常勤児童指導員2名(保育士1、指導員1)が勤務しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になさっているか	2	3	1	入口より指導訓練室まで大きな段差はありませんが、トイレ手洗への入口が狭く身体障がい児者には特別な対応が必要となります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	4	2	0	始業終業時には必ずミーティングを持ち、業務の見直し、必要な伝達事項を共有しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	アンケート結果より保護者の意向を把握し、改善が必要な項目に関する回答と具体的な取り組みを行います。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	ハッピーテラスのホームページ・グループページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	6	行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	スタッフの知識・技能に偏りが出ない様、年間研修計画を立て取り組んでいます。外部研修に参加した際は、社内伝達研修を実施し知識の共有を図っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	保護者との面談では、児童発達支援管理責任者と共に現場児童指導員も積極的に面談に同席し、より具体的な保護者のニーズを聞き取り、支援計画に反映させるよう努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	5	1	必要に応じて適応行動に関するアセスメントツールを用いています。支援による子供の様子の変化を把握するのに役立っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	6	0	0	その日に来所する児童の特性や能力を考慮し支援目標に沿ったプログラムをチームで考えています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	子供が興味を持ち、楽しく取り組める内容をベースに、運動・認知・学習・ソーシャルスキル等様々な狙いを持ちプログラムの開発を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	平日は30分の療育プログラムを3回、土曜日・休校営業日には午前2回、午後2回行っています。休校営業日および長期休暇時は、子供たちの気分転換、体力増進も視野に入れて外出活動や運動レクリエーションの機会を増やしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	基本は集団でのプログラムになりますが、必要に応じて指導員がマンツーマンでサポートに入ります。また、自由時間に支援計画に基づき個別の課題に取り組む等を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	必ず行っています。必要な共有情報は記録に残し、次の支援に役立てるようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	コンピューターのシステムを使い、個別支援計画の短期目標の達成度の視点より記録を残すようにしています。記録はシステムにより指導員に共有されます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	課題の見直しは適宜行ないます。見直し面談とは別で確認し、必要に応じ更新していきます。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行なっているか	5	1	0	基本活動を適宜組み合わせ、コミュニケーションの育成を中心としたトレーニングを施行しています。	
関係機関や 保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	1	はい、そのようにしています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行なっているか	1	4	1	保護者からの依頼等がある際に、個人情報共有の同意を得て、学校との連携を図ります。学校公開等に足を運び学校生活での様子も確認しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	3	現在、該当がありません。

者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	5	1	保護者から提供していただいた、就学前施設の引継ぎ資料等を参考にしています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	3	現在、該当がありません。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0	教育センターとの連携や、外部の専門機関が開催している研修について参加しています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	5	現在、積極的な実施はしておりませんが、外出時に公共図書館や児童遊園を利用するなどの機会を設けています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	文京区障害児支援ネットワークに参加し、事業所内で情報共有を図っています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	お迎えの際に、その日の取り組みやご様子について必ず報告しております。月に一度、教室での活動の様子をお知らせする「月次短信」を発行しています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	1	2	4	日頃から、対応の際のヒントになりそうな事柄を意識的に伝えるようにはしていますが、積極的なペアレントトレーニングは現在していません。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	6	0	0	重要事項説明書に明記し、契約の際にご説明させていただいています。運営規定及び各種マニュアル等併せて玄関付近に掲示しています。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	4	2	0	保護者からの相談は随時受け付け、自発管を中心に面談をし支援をしています。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	3	現在は、支援体制をとっておりませんが、保護者のニーズ等を確認しながら、必要に応じて保護者会などの開催を検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	苦情窓口を設置して対応にあたります。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	1	月に1回、通信と言う形で、その月の予定・確認事項等をお伝えしています。また同様の物を廊下の掲示板に掲示し周知徹底に努めています。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	個人情報に関わる書類等は、鍵付きの書庫で管理しています。また事務所内の整理整頓に努め、個人情報が来所者の目に触れないよう気をつけています。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	1	予定の変更・書類の受け取りの際には、できる限り書面で確認するよう心掛けています。
非常時等の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	3	現在、積極的な取り組みは実施しておりません。
	㉟	緊急マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	職員に対しては、勉強会などで周知しています。保護者に対しては、入り口ドア付近にいつでも閲覧できる形で掲示しております。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか	6	0	0	防災管理責任者を中心に、避難計画を策定し年2回の避難訓練を実施しております。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	都の虐待防止研修に職員が出席し、研修後教室内で勉強会を実施しております。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	利用契約時に説明を行ない、利用契約書への記名捺印をもって了承を得ています。また身体拘束が必要になる可能性のある方には、個別支援計画への記載も行ないません。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	5	0	アレルギーの情報は職員内で周知しております。現在、医師の診断書が必要な生徒の利用はありません。
㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	ヒヤリハットについては、その日のうちにスタッフで確認し共有しています。今後、事例集としてまとめ対策を立て対応していきます。	